

地球電磁気・地球惑星圏学会が実施した男女共同参画実態調査報告

Equal Participation of Men and Women in Geomagnetism and Earth, Planetary and Space Sciences - Member Survey Analysis Report -

男女共同参画提言ワーキンググループ 前田佐和子[1]

Maeda Sawako Working Group for Equal Participation of Men and Women[1]

[1] -

[1]-

男女共同参画学協会連絡会が2003年8月から11月にかけて実施した調査研究「21世紀の多様化する科学技術研究者の理想像：男女共同参画推進のために」の実態調査には、自然科学系の39学協会の会員から2万人近い回答が寄せられた。この調査には地球電磁気・地球惑星圏学会が参加し、全会員を対象とした実態調査を行った。それを機に男女共同参画提言ワーキンググループが結成され、調査結果の集計と分析をおこなったので、報告する。

会員数は2004年8月の時点で726人、そのなかで女性会員は極めて少数である。アンケート回答数は、男性86人、女性21人の計107人、回答率は約15%であった。年齢別にみると、30歳台の会員から多くの回答が寄せられ、特に女性会員からの回答率が高く、その期待の大きさを窺うことができる。

調査の結果からは、男女共同参画を進めることについて、男女の意識はかなり近づいていることが窺える。しかし、科学者・技術者に女性が少ないことの原因や、女性が科学技術分野に進出するための具体的な取り組みや施策については、必ずしも意見の一致は見られない。また、回答率の低さや「無回答」など、表面に現れない内容のなかに、真の問題が存在している可能性もあり、これから、より広くより深く問題点を明らかにし、男女共同参画推進のために具体的な方策を提言していくことが求められている。